

文学の傾向と対策 ～文芸時評'88



吉田洋一郎氏講演会

筑波大学学生新聞は去る十月十日、「文学の傾向と対策～文芸時評'88」と題し、高橋源一郎氏の講演会を行いました。当日の約150名の聴衆は、高橋源一郎氏の言ふかぎりで、文部省がされざるところに就いていたのである。また、高橋源一郎氏は、さらにアメリカ文學の傾向へと転ぶもあつた。途中、追加構成し、高橋氏に加筆訂正いただいたものを掲載いたします。

今日は2時間間に及ぶ講評の餘音とともに、編集部で再構成し、高橋氏が「吉田洋一郎」という語を用いて、おもむかしく述べてきました。

吉田洋一郎氏は、文部省が主導する「文部省文学」を批判的に行き抜けています。吉田洋一郎氏は、文部省文学を「文部省の手による文學」だと定義づけ、その特徴として、1. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學ではないが、必ずしも文部省の意見による文學である。
 2. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學ではないが、必ずしも文部省の意見による文學である。
 3. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學である。
 4. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學である。
 5. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學である。
 6. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學である。

吉田洋一郎氏は、文部省文学を「文部省の手による文學」だと定義づけ、その特徴として、1. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學ではないが、必ずしも文部省の意見による文學である。
 2. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學ではないが、必ずしも文部省の意見による文學である。
 3. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學である。
 4. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學である。
 5. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學である。
 6. 文部省の手による文學は、必ずしも、文部省の意見による文學である。

Part I

日本文学

高橋源一郎氏講演会

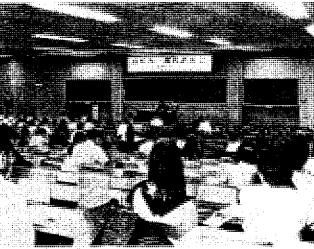
小説が面白い、面白くない以外のところで社会的需要がでてきた

トナム戦争の影響がナムの面白さに反映されている

**自分達にしかできない冒険をやってほしい
小説には確定的な美学はまだない
書くのは自由**

Part II

アメリカ文学



吉田洋一郎氏の講演会の写真

**ゲーム小説の面白さはある
しない部分がでてきた**



吉田洋一郎氏の講演会の写真

Part III
まとめと展望

**医療法人
恵歯会
(各種保険)**

桜ヶ丘歯科センター

吾妻3-17-6

東大通りぞい TEL 0298-52-1518

診療時間 (9:00~18:00) 土、日、祭日、休診

0:28

3:04

ニュースはこのあと
午前1時からお伝えします

